

期待の活動に今後の

聖火編集委員会

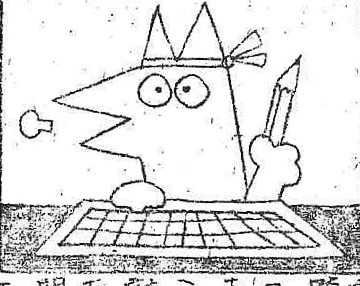
部会



発行所
大阪府立
阿倍野高等学校
新聞部
編集責任者
青田和広
発行責任者
外海靖規

後期よりラス役員選
挙から約一カ月になる
が、各部会では新メン
バーが旧部会に加わり
すでに部会活動を行っ
ている。また、聖火編
集委員会では、又とは
投稿を待つだけという
姿勢に至っている。そ
こで、部会・各団体の
現状、今後の活動内容
について、各部長、委
員長にインタビューし
てみた。

会組織、活動を理解し、
認識してもらう。というこ
とが掲げられている。一見
抽象的な言葉が並んでいる
のだが、これは、クラブや
H・R、部会
から文化祭・
体育大会の名
実行委員会に
至るまでの組
織の中で、自分の属してい
るものについてふり返り、
今年の活動やその成果を確
認しようというものである
つまり、これらの組織に属
することによって、自分が
自治会の会員であることと
認識してもらいたいという
ことだ。それは最終的に自
治会の活性化につながるこ
とになる。

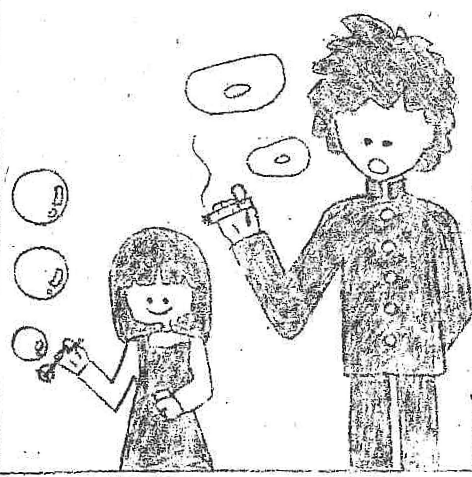


今年、聖火編集委員会
は投稿を希望しているの
が、実際のところ、締め切
りまでに自主的な投稿によ
るものはごく少数であると
予想されるため、結局、編
集委員が頼んで書いてもら
うというのが現状である。

このような方法では、生徒
が自治会を知るといふこと
はむずかしい。聖火編集委
員会では、自治会をはじめ
として、H・R、クラブの
活動化のためにも、自主的
な投稿を望んでいる。

風紀部会
風紀部会では、今後の活
動として、自転車問
題・冬服(マフラー
コートなど)の問題
をかかえているが、
これから一つずつ検
討していくつもりで
ある。なお、自転車
問題についてはアン
ケートをとる予定。

アイビー



反省を、新部会では主
スマツチについて検
あるが、体育大会の
長びくと、クラブマ
止にもなりかねない。
ではせひクラブマ
功させようと、反省文作
に励んでいる。

集会部会
すでに文化祭・体育大会
の反省を終えている。今後
生徒に部会の活動内容を理
解してもらい、来年度の全
行事・コーラスファイアー
を成功させたい。

会計部会
現在、文化祭・体育大会
の領収書の整理をもとに、
決算報告を作成中である。
それと共に、各クラブの備
品調査を行い、来年度の予
立案の資料とするつもりで
ある。

針

十一月二十五日に防犯
訓練が消防署の都合とか
で、八時限終了五分前か
ら放課後にかけて行われ
たが、いかなる放課後ま
で残ってやらなあかんの
や」と、不満に思った生
徒もいたはずである。せ
めて三時までには終わら
うと、思っていた。以下
防犯訓練について思った
事を書かせてもらおう。何
といってもマンネリだ。
毎回毎回集合訓練や消火
器実演では、新鮮味がな
く生徒が飽きてしまふの
ではないだろうか。発煙
筒をつけて実演を公した
り、小屋に火を付け、実
際に消火器を消したり、
消防車に実演をたのんだ
り、新味はいくらでもだ
せるものだが、講師の前
に、この訓練は一年
に一回だけではないのだ
からもうと段階的に高度
な知識を授け、興味を持
たせれば生徒がスリッパ
の切り替えでしかられる
事もないだろう。次回か
らは、勿論、訓練を遊び
でやっつてはいけないう
ある程度の娯楽も必要だ
というのを考慮しても

部說

必要な クラス委員 選挙規則

先頃、後期のクウス委員の改選があった。その中にはその選挙方法の決定のために長時間費してもめたというクウスがあったと聞く。その原因は、クウス委員の選挙規則が統一されていなかったためにおこつたものと思われる。生徒手帳の十七ページに自治会選挙規則というのがある。だが、内容にはいろいろ曖昧な點がたゞくさんあつて問題も多い。これは解放しにしておける問題ではなぐ、生徒全体の手で改めていかねばならぬ。それはこれだけにかかれうす、阿倍高にある自治会関係の規則の多くがおよ

るやで、それに基ついた判断・行動をしかねる。特に現在の阿倍高生のお席ムードを打破し、将来の阿倍高の姿を考えるためにも我々に口急席ではまいかと思う。そこで、新聞部は自治会選挙規則の中にクラス委員が含まれていて判りにくいので、それらを分離することとを一つ提案してみたい。

まず、現在の自治会選挙規則の曖昧な点（クラス委員選挙に関する）を指摘してみたい。

第一章一条の中に「選管
委は——中略——各クラス
議員の中から一名の委員を選
出する」とあるが、クラス
委員選挙の時もどうするのか
という点としても、このよう
には行われていない。次に
第四章十三条に、「クラス
議員・クラス委員は連記制
をとる」とある。しかし、
これも守られていない。ま
た、第六章三十二条には、
「開票は——中略——クラ
ス議員、並にクラス委員は
H・Rで管理委員立会のもと
に開票する」と書かかれて
いる。だが、管理委員を
置いているクラスはめった
にない。これらの解決案とし
て、まず、選管委員から選
べていくことにする。

訓田金手 下
倉寅共那須 正正
正正正正正
下
OCHIBI 四回 三十一

有るいはないからだ
 投票方法については筆記制
 にする。立候補者の多い場
 合、誰を入れたもよい方式
 をとり、過半数の支持があ
 りば、その者を委員に決定
 する。ただし、級友がおよ
 しろ半分で委員を定めるこ
 とはことは絶対にしてはな
 らない。だが、過半数に達
 しない時もあり得る。その
 ような場合は、筆記制でと
 り、上位二名に依り上げ、
 最終的にはどちらかが過半
 数を獲得すれば当選する決
 戦投票を行う。また、選挙
 はみんなが参加することを



勸めておく。二山は、生徒一人一人が自治会活動に参加し、個人の伸長を目的とする考えからである。

以上、クラス委員選挙の規則の大筋を述べてきたが、

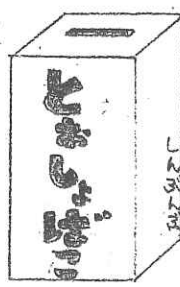
古都路

路都古
 ～秋篠寺～

 一度訪ねると
 幾度でもいきた
 くける寺がある
 もので秋篠寺も
 其の一つである
 近鉄西大寺駅か
 ら西北へ、幾輪
 島目指して十五
 分ほど歩くとすぐ出かる。
 この寺は、七十六年に光
 仁天皇の勅願によりて、建
 立されたが、兵火により東
 面西塔のみすか、金堂まで
 焼け、現在の本堂は昔の講
 堂である。
 本尊は、どこにもなく童観
 音菩薩如来坐像で、平安朝
 の木像である。脇侍は理知

あしらせ
— 新聞部 —
投書箱設置

このたび、新聞部の部長
前に投書箱を設置することに
なりました。そこで、お
まさんが悩んでいることが
ありましたら、用紙を用意
してありますので、遠慮な
くとして書いてください
ます。新聞部への批評・感
應・投稿や、学校内での不
平不満、その他諸意見が必
じば、ぜひでも結構です。
とにかくどんなことでもか
まいませんので書いてくだ
さい。尚、書き方としては



①必ず、自分の名前を書
いてください。(但し、
新聞にのせる場合は、
こちらの方で匿名にし
てのめます。)

②団体の意見は、必ずそ
の団体名を書いてくださ
い。

新聞部では、みなさん
の意見をどんどん取り入
れようと考えています。
ので、どうぞよろしくお
願いします。

年のミウズと呼んでゐる。この像に心な
かれる人は数多く、半
日近くもこの像に見入
る人もいるという。
また、この寺には日
本で唯一の大元師明王
像がある。一般に日開
張さい巨いが、写真で
見る限り、体中に蛇を
巻きつけた、近寄り難
い念地像である。
やさしい微笑みと、
怒ろしい怒り、本来な
ら全く逆のものが同時
に存在することが、秋
篠寺の魅力であらう。

三
上
野
者
司

集 途 高 倍 阿 落 特 墮

最近、阿倍高生の質が、低下してきていると言われている。例えば、化粧、指定外の服装、自転車通学などの校則違反、また、喫煙、盗難に至るまでの放れた行為が、目立ち始めてきている。

これこそ、東郷先生のおっしゃるところの、阿倍高生「墮落」の一端ではないだろうか。

今回、新聞部では、この墮落を象徴しているものの中から、「盗難」について、化粧、服装の三つのものを取り上げ、特集を組んでみた。

この件に当たりのあの人たちは、ただ山を流すだけでなく、各自の行動ももう一度かえりみなければならぬ。また、その他の人たちも、この記事から何かを得てほしい。



盗 難 を 徹 底 的 に 管 理

盗 難

九月中旬から下旬にかけて、大伴もの盗難が頻りに続いた。その上、盗まれた金額は非常に多額であった。我々の身辺で「盗難」という一犯罪が公然と行われたのだ。生徒諸君は、この「盗難」という事、難、という事、件をどのように受け止めるのか、どのように考えているのか。

まず盗難の日時についていえば、九月十二・十四・二十一・二十八日であり、盗難の行われた時、一番多いのは、体育の授業中となっていた。また、クラブ中の盗難もあった。

次に、盗難物で一番多いのは、もちろん金銭だ。六千円、九千円、一万円などという多額の金額が盗まれている。その次に、定期貯金券のような高価な物が多い。

被害にあった生徒は、全部で四教室で、一年、二年三年、と全学年におよんでいる。また、各クラブの被害についてもいえる。

害についていえる、男男子クラブ更衣室があげられている。

そこで、「盗難」について、生徒諸君の東郷先生に意見を述べてもらった。それによると、あくまでも推測ではあるが、「犯人は学校内部の者らしく、組織的、犯罪グループが阿倍高に存在しているかもしれない」ということだ。また、「人の物を盗んでしまう」という一種の倫理観を失った状態になっている。神様がマニエしてしまっただけではない、とあつちやっていた。

盗難にあつた生徒の意見も聞いてみた。その生徒は、「実際に盗まれたことにより、自分の管理が行き届かない。だが、学校側も、十分な処置を取ってほしい」と言っていた。また、「一般生徒を脅かす必要はない」とも言っていた。



の意見としては、「別にどうも思わない」というものも少しはあったが、ほとんどもが、「物も盗む無神経さが理解できない」と、人の物を盗むようになる人間が

「まいだ」といつような意見だった。

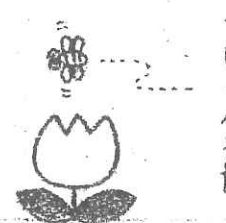
「人の振り見て、我振り直せ」という諺を、我々は肝に銘じるべきだ。盗難の被害者は、その悔しみを切実に感じてはいるが、腹立たしいとは思っていないから、意外と盗難に対する処置を完全にしていない者が多いのである。ここから、別にどうでもよい」というような意見が出てくるのかもしれない。

さて、ここで、盗難防止対策について述べてみよう。まず第一の対策は、自分の管理だ。生徒諸君がそれぞの盗難に気がつき、自分の物は、責任をもって管理する。自分のことは、自分でやる。の精神を忘れないことだ。これは、非常に重要な対策である。

第二には、学校側に対するものである。聖地移動の際に各教室に鍵をかけてはどうだろうか。これは当然といて、もういっくらで、盗難もふつとすにはもってこいの対策だ。またロッカーについてだが、もっとフルに使用すべきだ。これならば、盗難防止が十分にされるはずだ。また、これは、学校側だけでなく、生徒諸君にも訴えかけねば



ならないことだが、盗難事件の犯人追まを行ってほしいのだ。学校内部の者であれ、外部の者であれ、我々阿倍高生の不安をかきたてる悪魔なのだ。早急に犯人逮捕の処置を取ってほしい。



めだ。もしかすると、我々阿倍高生の中に盗難事件の犯人が、潜んでいるかもしれないのだ。思うところではないか。今、我々に課せられた仕事は、自己管理を徹底させることだ。我々ひとりひとりの小さな努力が、良い結果を生むかもしれないからである。

そして、生徒、教師が協力し、盗難を防ぐために、貴重品の管理を、こたないよう気を配っていくべきだ。

身だしなみを再考

——化粧・服装——

服装はその人の人格の一端を表わすといわれている。ところが、近頃阿倍野高生の服装が乱れてきている。原因は何なのだろうか。

そこで、最近

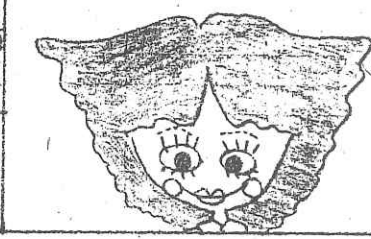
の服装の乱れについて、自後会顧問の飯田先生に伺ってみたところ、全体の傾向としては、一年生は真面目な方であるが、進級するにつれて、違反者が多くなってきている。ということだ。また、服装の点検が徹底されていないため、取り締まりに不十分な点がある。

好奇心と気の緩み

——タバコ——

我が校の喫煙の状況は、昨年二月に保健委員会が全校生徒に配布した「保健ニュース」によると、喫煙をしたことがあると答えた者が男子で五十一%、女子で十四%、全校では三二%である。また喫煙の理由として「好奇心で」というのが三学年通して男女共トブで、人に勧められた」というのが、これに次いで

多い。そもそも服装といものは、たとえ制服の規則があつたとしても、家庭のつけにもよる。その中で、それがゆき届いていなければ、違反者が出てくること、少々やむを得ないだろう、とおっしゃっていた。



服装違反の中で多いのは、男子生徒で襟章を付けていない者、変形ズボンをはいている者、ハイネックを襟から出している者などである。女子生徒では、夏服の時に、ボタンドウンを着てくる者など、取り上げられてはきりがない。また、化粧をしている者

いる。生徒指導部の先生の語では、昨年の某クラスの殆どどの者が文化祭の二次会で煙草を吸い、停学処分を受けた。特に、体育大会、文化祭の二次会や一般的に二年生の修学旅行では、気持が緩みがちに誘惑に負ける者も多い。喫煙店での喫煙も多く、先生方が巡視に行かれたり、近所の人の通報によって捕縛されるという事になった。

対置法としては、規則正しい生活を。自分の服装の基準を決めて、それに近づけていく。お互いに、自分の服装とくらべて、評価し合い、高校生らしい、さわやかな服装にするよう、心がけよう。また、化粧については、少しづつでもやめていくようにする。

以上、阿倍野高生の服装・化粧について、先生の意見を中心に述べてきた。

喫煙賛成者の意見は、「似合、きれい、良い、自分な責任を持てば良い、吸うなと言われたいと吸いたくなる。などで抑圧に対する反抗やフリーリニング、意志の弱さから喫煙をしている者もいるようだ。喫煙をやめるには強い意志と精神力が必要で、それは困難な事だ。しかし、私たちに出来るべき事は、何らかの抵抗を感じて欲しいものである。

悩みの部屋

先生(物理)に尋ねてみた。正しい生活をする。自分の服装の基準を決めて、それに近づけていく。お互いに、自分の服装とくらべて、評価し合い、高校生らしい、さわやかな服装にするよう、心がけよう。また、化粧については、少しづつでもやめていくようにする。

「われら青春」など、テレビ番組では、悩み多い高校生を悩ませるものが多い。私も、青春の悩みを一言のだからそれ、悩みの部屋に悩みの部屋を悩ませるものが多い。私も、青春の悩みを一言のだからそれ、悩みの部屋に悩みの部屋を悩ませるものが多い。

先生(物理)に尋ねてみた。正しい生活をする。自分の服装の基準を決めて、それに近づけていく。お互いに、自分の服装とくらべて、評価し合い、高校生らしい、さわやかな服装にするよう、心がけよう。また、化粧については、少しづつでもやめていくようにする。



先生(物理)に尋ねてみた。正しい生活をする。自分の服装の基準を決めて、それに近づけていく。お互いに、自分の服装とくらべて、評価し合い、高校生らしい、さわやかな服装にするよう、心がけよう。また、化粧については、少しづつでもやめていくようにする。

发展望心

ー再建クラブと愛好会ー

現在、我が校のクラブは、
できないでいる。

愛好金を合せて四十圓に
数になる。その中には、部
員が非常に少ないクラブや
部員が全くいないために活
動ができないクラブ、また
継続して自主的な活動を行
い、クラブに昇格させよう
としている愛好会などがあ
る。そこで、このような見
逃されがちなクラブ、愛好
会を知ってもらうために、
紹介するのとした。

また、歴史研究部は部費が全くない。昨年までは文化祭で研究発表をしていたが、今年には、部員が全員退部し、新入部員もなかったために活動できなくなり、体部状態になった。しかし、顧問の先生のほうでは、雨が降ると行けなかつたが、希望する生徒を募り、飛鳥へ行くことを計画していた。

文学部は、数人によつて今年の四月に復興されたが現在では、部員がたゞ一名に減つてゐる。十月三十一日に、少数の協力者の援助もあつて、雑誌「コア」第二号を発刊した。しかし一名の部員では力が限られるので、思ふような活動が

書道部は、今年の四月に
廃部にしようという案が出
たが、書道をしたという
者の希望で、再建クラブと
して活動している。

また、アマチュア無線愛
好会は会員が十二名で、結
成されたから二年経ってい
る。無線局が開局されてか

らは、十一月で一年年を迎えた。結成されたときからクラブ昇格という目的をもつて活動し、最近、昇格させようという動きが起きてきている。

我々は、このようなクラブ、愛好会の有意義な活動を認め、完全なクラブに成長してほしいと思う。

壮大な宇宙叙事詩
 「百億の昼と千億の夜」
 光瀬龍 著
 寄せてはか
 えし……
 寄せてはか
 えし……
 何億年も
 のほとんど永
 却にちかいを
 か……

OH NO!

態度が悪い!
全員、外周
10周!!



7 7 7 報 告

クラブ名	日時	内 容	結 果
文学部	10.31	「コア」第二号発行	
ラグビー部	11.3	対野崎高校	50-6 (勝)
"	11.12	対大阪工業大学附属高校	0-58 (負)
バスケット部	11.5	対北淀川高校	10-12 (負)
サッカー部	11.12	対生野工業高校	1-1 (引)
剣道部	11.13	阿倍野区民剣道大会出場	
"	1.15	新 人 戦	
男子バレー部	11.13	対布施高校	
柔道部	11.20	昇段試合	
陸上部	11.20	駒 伝 (長居に之)	
軽音エレクトロ部	12.3	コンサート (講堂にて)	
軽音ジャズ部	12.18	コンサート (青少年会館にて)	
体操部	12.18.19	新 人 戦	
女子バスケ部	1.6	新 人 戦	

壮大な宇宙叙事詩

「百億の昼と千億の夜」
光瀬 龍 著

寄せてはか
えし…
かえしては
寄せる波の音
は、何處までも
のほとんども
却にちかい
かしからこの

七千万年後に地上に現れ、人々を救うといわれ来る弥勒（ミロウ）、そして、神の子イエス・キリスト。我々人類は神に祈る。しかし、果たして、「神」とは何なのか。我々が尊び、敬い、従つてきた神とはいふたい。その真相をつきとめるが

世に名を聞かざる詩人があつたの胸に云が、てゆくであらう。

アトシ

編集後記

となるミッター太子、そ
いて鬼神として有名な高修
羅王の三人が立ち上がった。
そして、過去から未来への
彼らの壮絶なまでの神々の
戦いが始まるのである。

人生わずか五十坪とい
うが、新聞部の二年生た
ちは、ほんの一年半の活
動で引退してしまつた。
後に残つた一年生は、
先輩たちの教えをものとに

私は、この本を讀んだとき、ガーニときた。そして、その次に、自分の存在の小さなことに気付いたのである。愛護してゆく宇宙、我人間の兄弟と云うものは、広大な宇宙にとては、ただひとつの小さな変化にすぎないのである。銀河系、

して、や、とこの新聞を
作り上げた。今、あなた
一年生は、引越した先輩
たちへ紙面を借りて、「
お世話になりました」と
一言の礼を言っておきな
い。

さて、行事の夕か、に
二期も終わりを迎え、

いやは大宇宙に広がる空間の
 百人の一聚はのだ。
 世大はスケールで取り扱
 たせいか、名前にの小説を
 愛むたびに、一種の度心状
 態におそわれるのである。
 最近、少年雑誌にマンガが
 化されてゐるので知、てい
 う人も多いと思うが、一度
 原作を読んでみるといい。

